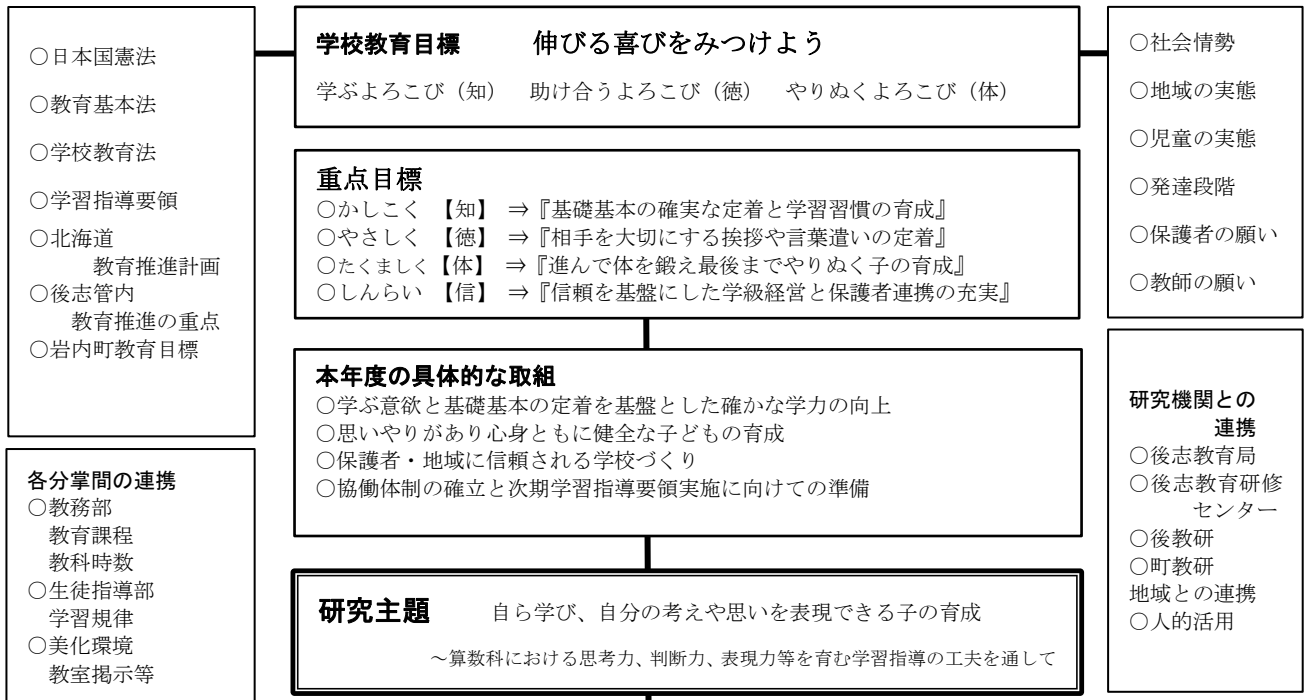


平成30年度 岩内西小学校研究全体構造図



**研究仮説1**

教師が、アウトプット（書く・話す・話し合う）の活動内容を豊かにすることで、主体的な学習を進めることができる。

**研究仮説2**

ノートづくりをベースとして、発達段階に即した表現をすることで、確かな思考力、判断力、表現力を育むことができる。

**目指す子ども像①**

自ら考え、生き生きと主体的に授業に参加する子

**目指す子ども像②**

ノートなどを思考の場として活用し、豊かな表現ができる子

**研究の視点1**

<指導言>

- ・説明・指示・発問の区別

<評価言>

- ・フォローの技術

**研究の視点2**

<板書・ノート>

- ・思考の流れが分かる板書・ノート作り等の工夫

<表現方法>

- ・自分の考えをわかりやすく伝える方法の選択と、効果的な活用

**研究基盤**

- ・基礎基本の定着（習熟の時間の設定、西小「そろえる活動」）
- ・信頼関係の構築（教師、児童間）
- ・日常的な授業改善（日常授業で生かせる実践の蓄積）
- ・参加率の向上（指名の仕方、ペア学習）

